

川西市介護予防・健康ポイント事業構築・運用業務に係るプロポーザル
評価委員会の選定結果について

川西市介護予防・健康ポイント事業構築・運用業務受託候補事業者の選定について、
川西市介護予防・健康ポイント事業構築・運用業務に係るプロポーザル評価委員会によ
る選定結果及び選定講評を受けて下記のとおり公表します。

令和6年6月7日

川西市長 越田 謙治郎

記

1. 受託候補事業者

株式会社ギフトパッド 代表取締役 園田 幸央

2. 選定結果

事業者・共同事業体名	点数
株式会社ギフトパッド	74.9 / 120点
株式会社ベスプラ	72.7 / 120点
A	72.5 / 120点
B	71.7 / 120点
C	70.6 / 120点
D	66.6 / 120点
E	64.0 / 120点
F	62.1 / 120点

川西市介護予防・健康ポイント事業構築・運用業務に係る
公募型プロポーザルの選定講評

令和6年6月7日

川西市介護予防・健康ポイント事業構築・運用業務に係る
プロポーザル評価委員会

川西市介護予防・健康ポイント事業構築・運用業務に係るプロポーザル評価委員会（以下「評価委員会」という。）は、川西市介護予防・健康ポイント事業構築・運用業務受託候補事業者の選定について、評価基準に基づき、提案内容等の審査を行いましたので、審査結果及び審査講評を公表します。

本プロポーザルへ参加いただきました提案事業者におかれましては、ご多用のところご提案いただきましたことに対し、感謝申し上げます。

令和6年6月7日

川西市介護予防・健康ポイント事業構築・運用業務に係る
プロポーザル評価委員会委員長 田中 英之

1. 本プロポーザルが求める事業概要と評価委員会の経緯

(1) 事業概要

① 事業の目的

高齢者が自ら介護予防に取り組むこと、市民が自らの健康状態に関心をもち健康づくりに取り組むことへの動機付けを行うなど、介護予防と健康づくりを推進するため、ポイント付与を活用した介護予防活動・健康増進活動への参加促進ができる仕組みを構築することを目的とする事業の委託事業者を選定するため公募型プロポーザルを実施する。

② 事業実施

契約締結後、本市と協議し、仕様書に基づき令和7年1月に稼働させる。

(2) 選定スケジュール

項目	日程
実施要領の公表	令和6年4月15日（月）
質問書の提出期限	令和6年4月22日（月）
質問回答	令和6年4月26日（金）
応募申込書の提出期限	令和6年5月10日（金）
応募資格の通知（認定しない場合のみ）	令和6年5月15日（水）
企画提案書の提出期限	令和6年5月22日（水）
プレゼンテーションとヒアリング審査	令和6年5月29日（水）
選定結果通知	令和6年6月7日（金）

(3) 評価委員会の構成

評価委員会の構成は、川西市介護予防・健康ポイント事業構築・運用業務に係るプロポーザル評価委員会設置要綱（令和6年川西市訓令第10号）に基づき設置した。

評価委員会の構成

役職	氏名	所属等
委員長	田中 英之	福祉部副部長（介護保険・障害福祉担当）
副委員長	松本 純子	健康医療部副部長
委員	貞松 喜代美	福祉部介護保険課長（地域包括ケア推進担当）
委員	西村 幸子	健康医療部保健・医療政策課長
委員	間森 新	企画財政部 ICT 推進課 主査

(4) 評価委員会開催と経緯

開催日	内容
令和6年5月29日	優先交渉権者選定会議（プレゼンテーション・ヒアリングについての意見交換及び採点、優先交渉権者の選定）

2. 提案内容に関する審査

本プロポーザルへの参加事業者と審査結果は次のとおりである。

(1) プロポーザル参加団体

事業者・共同事業体名（参加申込順）
株式会社ギフトパッド
株式会社ベスプラ
エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社
阪急阪神ホールディングス株式会社（阪急阪神ホールディングス・ウェルビーイング阪急阪神・アイテック阪急阪神事業グループ）
株式会社フューチャーリンクネットワーク（川西市介護予防・健康ポイント共同事業体）
フェリカポケットマーケティング株式会社
ジョルダン株式会社
株式会社タニタヘルスリンク

(2) 評価基準

評価項目		評価の視点	配点
1 業務全体			25点
1-1	業務理解度及び工程管理	本市が示した仕様書等からシステムの導入目的を十分に理解し、目的を達成することを意識して的確な工程管理の方法が提案されているか。	5点
1-2	業務実績及び取組姿勢	本委託業務と同種業務を履行した実績（発注自治体の人口規模も含む）があり、介護予防・健康ポイントシステムの導入について、会社としての考え方（取組姿勢など）が明確か。	5点
1-3	運営費用	2年目以降のポイント交換に係る手数料は、市の負担が少なく計画されているか。	5点

1-4		2年目以降の運営費用は、安定して継続できるものか。	5点
1-5	独創的な提案	本市が提示した仕様に加えて、独創的な提案ができていないか。	5点
2 システム構築			45点
2-1	管理機能	利用者数に応じて費用等に影響がないか。	5点
2-2		OSのバージョンアップ等、動作環境の変更に速やかに対応できる体制がとられているか。	5点
2-3	分析・連携	AI等を活用したフレイルリスク分析やマイナポータル連携など、アプリの利用に係る統計や分析に関する付加機能が充実しているか。	5点
2-4		実施したアンケート結果を集計・分析し、その内容を市へ提供できる仕組みが用意できているか。	5点
2-5	利便性	仕様書等で示している各種機能について、利用者が簡単な操作でストレスなく使用できるか。	5点
2-6		蓄積した介護予防ポイント及び健康ポイントの交換先は、利用者にとって利便性が高く、交換が容易に行えるか。	5点
2-7	システム管理	二次元コードによる介護予防ポイント付与は、不正防止対策として二次元コードの読み取り可能時間の設定を行えるか。	5点
2-8		市管理者が利用者の情報や利用状況を容易に確認、データ出力できるよう設計されているか。	5点
2-9	独創的な提案	本市が提示した仕様に加えて、独創的な提案ができていないか。	5点
3 運営体制			30点
3-1	組織運営	提案事業に係る必要なスキルを持った人員配置等による組織の運営、管理体制が確立され、財務の健全性、将来的な財務の安全性を確保し、長期間安定的に事業を実施できる体制が確保されているか。	5点

3-2	コールセンター	利用者からの問い合わせ等に対応できる体制が確保されているか。	5 点
3-3	広報・利用促進	委託事業者が市と連携し、積極的に利用促進する体制が構築できているか。	5 点
3-4		スマートフォンが使い慣れていない方への案内や説明会などについて、どのように実施するか具体的な提案がされているか。	5 点
3-5	システムテスト期間	システム構築後のテスト期間が十分に設定され、委託事業者だけでなく、市職員がテスト・評価する期間に余裕を持って設定されているか。	5 点
3-6	独創的な提案	本市が提示した仕様に加えて、独創的な提案ができているか。	5 点
小計			100 点
4	価格評価【 配点 × (提案価格のうち最低価格÷提案価格) 小数点第2位を四捨五入】		20 点
合計			120 点

(3) 評価委員会による審査及び評価の流れ

評価委員会は、参加団体によるプレゼンテーション及びヒアリングを令和6年5月29日に実施した。

プレゼンテーションで企画提案書の内容を補完する説明及び提案を受け、市が求める同種事業の実績や事業計画の実現性、事業推進体制、企画提案内容等の評価を行った。

ヒアリングでは企画提案書の内容及びプレゼンテーションでの提案について、疑問点や仕様書に基づき事業が適切に実施できるか、詳細に確認を行った。

各委員は事前に提出された企画提案書等をはじめ、「プレゼンテーション」「ヒアリング」を総合的に評価し、本市が求める事業を実施できるか、慎重かつ厳正に審査した。

3. 審査委員による審査結果

(1) 合計点による審査結果

提案事業者は8者あり、すべての提案事業者がプレゼンテーション及びヒアリングを実施した。評価委員会において厳正に審査及び評価した結果は、次のとおりであり、最高得点であった提案事業者を受託候補者とした。

事業者・共同事業体名（得点順）	点数
株式会社ギフトパッド	74.9 / 120点
株式会社ベスプラ	72.7 / 120点
A	72.5 / 120点
B	71.7 / 120点
C	70.6 / 120点
D	66.6 / 120点
E	64.0 / 120点
F	62.1 / 120点

（２）選評

評価委員会では、本業務の目的である介護予防活動・健康増進活動への参加促進を円滑に行うことができるかという観点で、業務全体の理解度・取組姿勢、同種業務の実績、システムの機能・利便性はもとより、システム利用開始後の運営体制や利用促進に係る体制、長期間安定的に事業を実施できるかなどを総合的に審査・評価した。

提案事業者の中でも受託候補者は、幅広い年代層を対象としたICTを活用した多様なポイント事業を実施してきた業務実績から、本事業のシステム構築において、高齢者も利用しやすいシンプルな画面構成で、ポイント付与までの一連の流れをスムーズに行えるスキームの構築に加え、コールセンター運営に関しては、介護予防ポイント付与を行う活動先からの問い合わせも考慮し、利用人数に応じた柔軟な人員調整を行うなど、本事業の業務理解と取組姿勢が特に高評価であった。

さらに、多様なポイントの交換先に加え、キャッシュレスサービスを利用しない人への対応に言及するなど、多様な利用者に考慮し、本事業の普及に取り組もうとする姿勢も高評価となった。

一方で、AI等を活用したフレイルリスク分析などのシステム付加機能面では他事業者の評価を下回ったものの、付加機能を除くシステムの機能・操作性・利便性などにおいてバランス良く、総合的に高評価を得、最高得点者となった。

（３）今後の事業実施にあたって

なお、受託候補者には以下の点を期待する旨申し添える。

①市民にとって分かりやすく丁寧な対応に努め、本事業が市民に広く浸透し継続的な利用が増えることで、市民の社会参加と運動習慣の定着を促進し、認知症予防も含む介護予防、健康増進につながる事業となることを期待する。

②介護予防ポイント事業においては、地域活動者の人材不足という地域課題解決に向けた手段とも考えているため、事業開始後も様々な機会を通して、今まで他市事業で培ったノウハウを活かし、介護予防活動・健康増進活動への新たな参加者促

進につながる活動の提案を期待する。